



〔5〕 若宮神社

祭神は仁徳天皇で俗に若宮さんと呼ばれ向いの用免山に祀られその後現在地の瀬戸の川に鎮座し白蛇伝説が伝わっています。

〔7〕 五日市八幡神社の神輿
江戸末期に造られた神輿が三つあり御旅所の塩屋神社まで行き随所で行進神輿が行われました。

〔8〕 五日市八幡神社の由緒

五日市町の旧郷社で近在15村の総鎮守となり室町末期に旧坪井村から山津波で流れ着いた社宝を神宮山麓で祀ったとされます。



〔9〕 八幡川の付替え

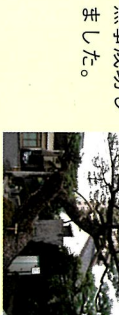
八幡川沿いは氾濫が絶えず江戸初期に現在の河道に付け替えが行われ皆賀方面に流されました。

〔6〕 旧八幡川跡 (古川)

江戸初期までの八幡川の旧河道で地名は古川と呼ばれています。

〔4〕 光禪寺誓いの松

江戸初期に訪れた石井兄弟は僧大忍に厳島仁王門での仇討ちを告げ戦勝を誓って松を植え大忍の手助けで無事成功しました。



〔2〕 八幡橋

『都志見往来諸勝図』の八幡川図に載る土橋は当地より北一町にあり後に付け替えられました。

〔5〕 正向寺

江戸初期に桜井文吉が龍乗と名のり浄土真宗の寺を建てました。

〔6〕 旧五日市村役場跡

明治22年に五日市村・海老塩浜・皆賀村を合し五海市村(後の五日市村)の役場が建てられました。



〔3〕 五つ神社

祭神は五柱あり五つ神社えびずさんと呼ばれ五日市の地名発祥の地として町を見続けています。

参考文献

『五日市町誌』五日市町／『五日市町郷土略年表』五日市教育研究会／『五日市町の文化財』五日市教育委員会／『いつかいちの民話』『いつかいちの民話とくらし』『いつかいちの民話とくらしの歴史の散歩道』『いつかいちの樹木』五日市公民館／『佐伯区今昔展』広島市公文書館／『古路・古道調査報告』『河岸の戦後史・八幡川』広島市教育委員会／『都志見往来日記・同諸勝図』広島市中央図書館／『探す・見る・八幡川ウオーキングマップ』『続・八幡川歴史探訪ガイドブック』やはたがわまっぶくらぶ・広島市佐伯区役所／『西国街道ぶらり散策まっぶ』五日市西国街道散策倶楽部・五日市公民館 他多数

団体紹介

五日市西国街道散策倶楽部
連絡先 広島市五日市公民館
TEL.082-922-8333 / FAX.082-922-8334



旧海老塩浜堤防跡



五日市八幡神社

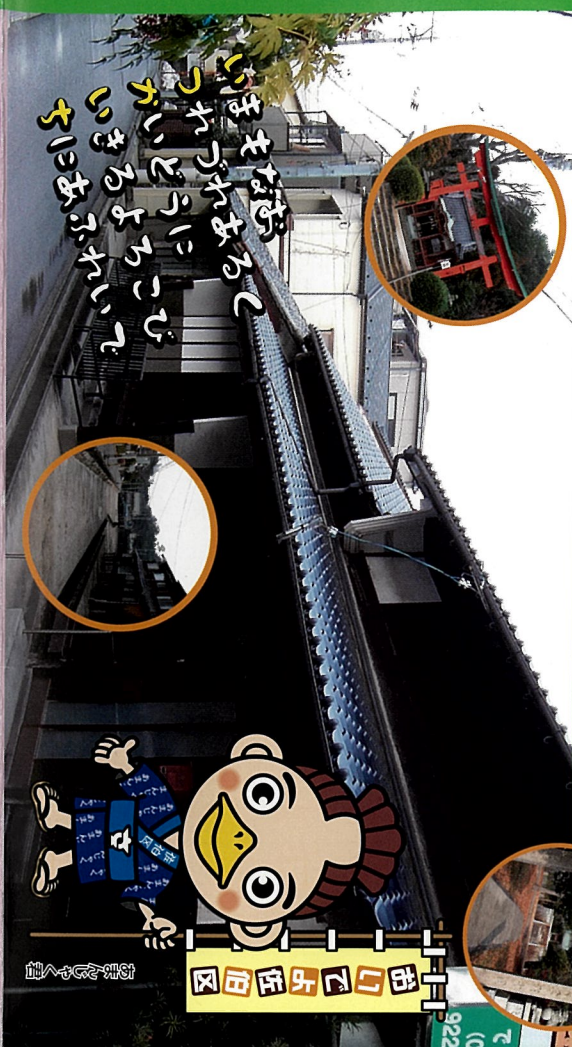
五日市の歴史

室町初期に摂津国池田荘から池田氏が入部し、池田城(城山)を本拠に五日市平野の開発を行いました。戦国時代に高田郡の武将穴戸氏は、殿山と海老山の間に居館を置き、厳島合戦に備え町を整えました。五日市の古刹光禪寺は、八幡地区から城山山麓へと移り、天正8年(1580)に現在の地に居着きました。創建当時は厳島信仰から真言宗でしたが、やがて浄土真宗と改宗し、江戸初期には仏護寺(現広島別院)十二坊として、旧佐伯郡最大の寺院となりました。本より殿山山麓に五つ神社が鎮座し、六斎市が立ち市町と漁港で成立していました。西国街道(近世山陽道)が正式に通じ、沖合に海老塩浜が開設されると、廿日市や草津と並ぶ賑わいを見せ、光禪寺他三ヶ寺や五日市八幡神社・塩屋神社の門前町になりました。八幡川の付替えに伴い五日市用水路が開設され、広大な五日市平野を舞台に農業生産も発展し、商工業も発達し町並みは活気にあふれました。



『都志見往来諸勝図』八幡川図

五日市まぢめぐり散策路
あまんじゅくど歩く通りみち



〔5〕 五日市中央連鎖街

昭和初期に新旧五日市町役場を結ぶ南北の商店街ができました。

〔3〕 海老塩浜跡

江戸初期に広島藩は海老山の西に海老塩浜を開墾し、良質の生塩は佐伯郡や山県郡へと売り渡され、明治末年に至り閉鎖されました。



〔2〕 塩屋神社
海老塩浜の守護神で五日市八幡神社の御旅所となり厳島神社の末社であり五日市漁港の繁栄を見守り夏の例大祭は賑わいを見せます。

〔4〕 旧海老塩浜堤防跡

海老塩浜の北辺部を中土手といいその上を西国街道が通りました。

〔5〕 五日市護国神社・貴船神社

昭和初年に五日市招魂社が建ち貴船神社を併せ祀られています。



〔6〕 海老山・津久根島

地形から海老尾峰と呼ばれ後に海老山となり穴戸氏が城を造り、沖合の津久根島はあまんじゅく伝説の湯蓋道空の墓があります。

〔4〕 三十人の墓

厳島合戦の前に穴戸氏と陶氏の戦があり多数の死者ができました。



〔2〕 湯蓋の地名

殿山と海老山の間は湯湯が湧出し蓋をしたとの伝説があります。

ウォーキングのための知識

- あらかじめ、余裕のあるスケジュールを組みましょう。
- 天気予報に注意し、天候が悪いときは予定の変更、中止などを考えましょう。
- 服装は軽装で持ち物はできるだけ軽くしましょう。
- 交通ルールは必ず守りましょう。
- 路上での飲食はやめましょう。
- タバコは休憩所など決められた所で吸いましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。



五日市まぢめぐり散策路とは
このたび、郷土五日市の歴史を再現し、佐伯区はもとより仕事や観光でお見えになる人たちに向け、ゆっくりとそぞろ歩ける散策路を設定しました。広島市西郊の風光明媚な風土とかつて賑わった町並みや史跡や社寺を、楽しく語って学んで頂けるよう、当地のアイドル「あまんじゅく」と共に、ぶらり歩いてみましょう。そして住みよい佐伯区に向け、明日への夢とロマンを抱いて下さい。きつと何かが見えてきますよ。

平成19年度 広島五日市ライオンズクラブ創立30周年記念事業

協力団体

広島市佐伯区役所 広島市立佐伯区図書館
(財)広島市ひとまなびプラザ五日市公民館・五日市中央公民館 五日市商工会

制作編集

五日市西国街道散策倶楽部
連絡先 広島市五日市公民館気付
TEL.082-922-8333

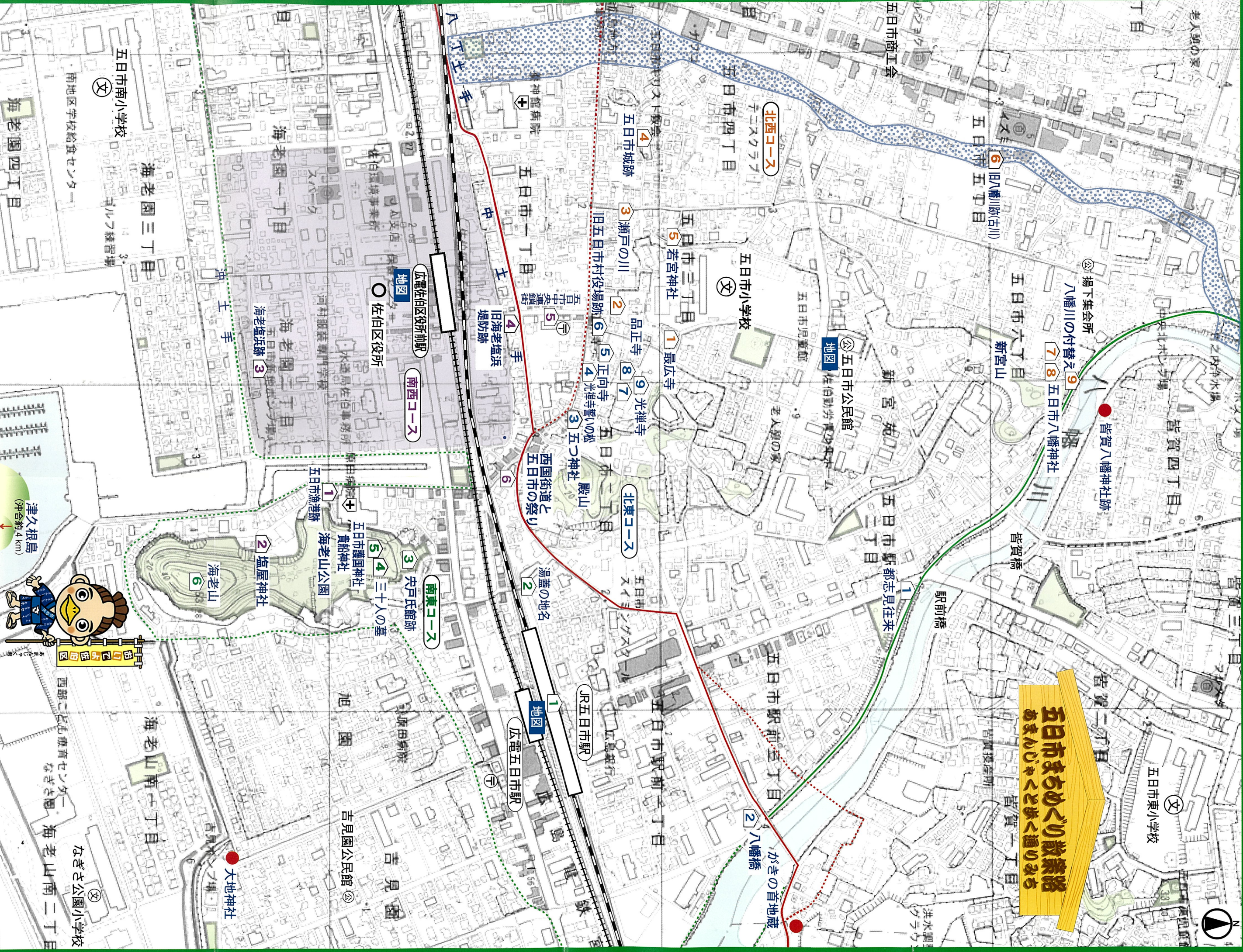
企画発行

広島五日市ライオンズクラブ(事務局)
〒731-5196 広島市佐伯区菜々園4-7-10
TEL.082-922-5588 / FAX.082-923-6846

『いつかいちの民話とくらし』より引用
むかし五日市の地に湯蓋道空という人がおり、その息子は上と言えは下といい親の忠告をことごとく聞かず、あまんじゅくと呼ばれていました。道空が自分の死を感じ息子に、「わしが死んだら津久根島に葬ってくれ」と故意に言い残すと、息子は最後の願いはかなえてやろうと、親の意に従い沖合の小島に墓を建てました。



『五日市町誌』より引用
江戸初期の西国街道の南側は遠浅の干潟が続き、万治年間に広島藩から海老塩浜の開墾が認められました。その後八幡川の付替えと五日市用水路の開設により、海老山の東に未新開・楽新開・蟹原新開・湯蓋新開・二階堂新開が江戸時代に干拓され、明治期の吉見新開や楽々園等の干拓で海岸線は後退しました。



五日市まちめぐり散策路
あま心地めぐり散策路

凡例

江戸時代以降の西国街道

江戸時代初期の西国街道

津志見往来

江戸時代後期の海岸線

八幡川旧河道

海老塩浜跡

1 説明板

地図 案内図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分1地形図を使用したものである。
(承認番号 平19 中使 第19号)
使用地形図：1/10,000地形図「五日市」平成17年1月1日発行

広島五日市ライオンズクラブ

協力 五日市西国街道散策倶楽部

0

100

200

300

400

500m